

第57回 福井県剣道大会

〈中学校・高等学校の部〉平成21年9月19日(土) 於 県立武道館
〈一般男女の部〉平成21年9月20日(日)



第 65 号

発行人
福井県剣道連盟
理事長 市橋和廣
事務局
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
榊マルツ電波二の宮店 付属舎
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fukikendo@herb.ocn.ne.jp



中学校男子の部

優勝 三方中学校 A
二位 芦原中学校
三位 藤島中学校 A



中学校女子の部

優勝 三方中学校
二位 丸岡中学校
三位 鯖江中学校



高等学校の部

優勝 啓新高等学校 A
二位 敦賀気比高等学校 A
三位 敦賀高等学校 A



一般男子の部

優勝 福井県警察機動隊
二位 福井刑務所
三位 福井県学校剣道連盟



一般女子の部

優勝 坂井地区剣道連盟 A
二位 三方地区剣道連盟 A
三位 福井地区剣道連盟 B

昨年まで各市町、職域、中学校、高等学校から選抜されたチームが出場し開催されてきた福井県剣道大会ですが、平成三十年に開催予定の二巡目福井国体に向け、競技力の向上と剣道人口の拡大を図るため、今年はチーム数に制限を設けず、二日間の開催としたことで、中学校男女五十五チーム、高等学校二十八チーム、一般男女四十六チーム、計六百三十八名の選手が参加し、県内の剣道人が一同に集う盛大な大会となりました。
中学校男女および一般男子は五人戦、一般女子は三人戦、高等学校は男女混合七人戦の団体戦による白熱した試合が、二日間に渡り展開されました。
また、二日目の開会式では、福井県剣道連盟の発展に功績のあつた七名の個人に功労賞が、各ブロック大会において優秀な成績を収めた個人、団体に優秀選手賞が贈られました。



功労賞

小 矢 川 重 田 宮 武 堂 川 重 矢 小
川 田 下 淵 田 田 川 田 下 淵 田 田 川 田 下 淵 田 田
保 德 裕 仁 辰 省
則 男 昭 哉 男 豊
(越前地区) (三方地区) (南条地区) (若狭地区) (敦賀地区) (福井地区)



優秀選手賞

啓新高等学校女子剣道部 (平成21年度北信越高等学校剣道大会 女子団体の部 準優勝)
水 嶋 龍之介 (第51回北信越学生剣道選手権大会 男子個人の部 優勝)
福井工業大学剣道部 (第51回北信越学生剣道優勝大会 団体の部 準優勝)

試合結果

県少年剣道錬成大会

平成二十一年七月十二日(日)
於 福井県立武道館大剣道場
本年七月十二日(日) 福井県立武
道館大剣道場において、第四十三回
福井県少年剣道錬成大会が開催され
ました。

試合は、男子部門・女子部門の団
体戦、四年生以下の部・五年生以上
の部の各個人戦が行われ、少年・少
女の剣士たちが熱戦を繰り広げた。
なお、本大会は本年九月二十日(日)
大阪市舞洲アリーナにおいて開催さ
れる、第四回全日本都道府県対抗少
年剣道優勝大会小学生の部の選手選
考会も兼ねて行われた。
試合の結果については、次のとお
りです。

▽団体戦

- 優勝 武道学園剣道教室
準優勝 新風館愛宕坂道場
第三位 鯖江剣道スポーツ少年団
同三位 敦賀剣道スポーツ少年団



- ▽団体戦(女子の部)
優勝 敦賀剣道スポーツ少年団
準優勝 志比剣道スポーツ少年団
第三位 豊剣道教室
同三位 芦原少年剣道教室



▽個人戦

・四年生以下の部

- 優勝 前田 凱斗 (鯖江剣道スポーツ少年団)
準優勝 川崎 叶也 (豊剣道教室)
第三位 宮内 琉成 (鯖江志士樹館)
同三位 松永 浩明 (丸岡剣道スポーツ少年団)

- 敢闘賞 遊津孝太郎 (福井養正館)
敢闘賞 清水 陽太 (江守の里少年剣道教室)
敢闘賞 小辻 朋未 (武道学園剣道教室)
敢闘賞 堀江 新大 (鳥羽スポーツ少年団剣道部)



- ・五年生以上の部
優勝 馬淵 稜也 (敦賀剣道スポーツ少年団)
準優勝 中田 隆翔 (五常館)
第三位 早川 太梧 (五常館)
同三位 小荒 浩夢 (越前少年剣道クラブ)

- 敢闘賞 柴田 性宗 (福井少年剣道クラブ)
敢闘賞 道内 将誉 (福井東部少年剣道教室)

- 敢闘賞 高柴慶一朗 (新風館愛宕坂道場)
敢闘賞 増永 大夢 (木田剣道スポーツ少年団)



第四回全日本都道府県対抗少年剣
道優勝大会「小学生の部」の出場選手
として、福井県剣道連盟選手選考会
に上申する選手は、次のとおりです。

- 選手候補 馬淵 稜也 (敦賀剣道スポーツ少年団)
選手候補 中田 隆翔 (五常館)
選手候補 早川 太梧 (五常館)
選手候補 小荒 浩夢 (越前少年剣道クラブ)
選手候補 増永 大夢 (木田剣道スポーツ少年団)
補欠選手候補 山口 雄大 (武道学園剣道教室)

第1回全国都道府県対抗 女子優勝大会

平成二十一年七月十八日(土)
於 日本武道館

▽試合結果

福井県 0-4 埼玉県
伊藤 | コ 木村(蒔)
宮田 | メ 木村(織)
橋本 | メ 村山
高嶋 × 栗田
遠山 | コ メ 堀川

全剣連は昭和五十九年より昨年まで二十五回行われてきた『全国家庭婦人大会』を見直し、一層の振興を図る目的から高校生や大学生を加え、年齢別の五名の選手構成で『全国家庭都道府県対抗女子優勝大会』として新たに開催されました。

第一回大会ということもあってか、どの都道府県チームも稽古十分で、トップレベルの選手が出場していました。本県選手も、六月の予選会後毎週土曜日に強化稽古会を実施し、本大会に意気込んで臨みました。初戦の埼玉県は実力者ばかりではありましたが、本県選手は望むところというところで終始怯むことなく攻め込み気迫あふれる試合を展開してくれました。

試合に勝つためには、勇氣ある決

断力、それと冷静な試合運び(相手の様子を観察する洞察力)や絶好の機会をつくる読みと攻め崩し、キレのある技など精度の高い技が要求されます。相手の有効打となった技の中には、強度にかけるものもあり大変悔しい思いをしました。しかし、本県には決定的な有効打が少なかつたことも事実です。

△稽古はウソをつかない▽と申します。今後も、毎週土曜日の稽古会(県立武道館)に会員皆さんで参加していた、だき機運を盛り上げ、この悔しさを忘れず『心技体』とも質の高い剣道をめざし、次こそは必ず全国で勝ちたいと思います。皆さん頑張りましょう。

遠山 訓子

昨年の「第二十五回全国家庭婦人大会」に、図らずも監督として行かせて頂いた時から、今年は選手として出場したいと強く願っていただけに、念願が叶ったことで、気持ちも高まっております。

今回から新たに「第一回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」で記念すべき大会になり、大将として試合ができることは、うれしい喜びの反面、責任の重さに押しつぶされそうな出場になりました。毎週の練習会に加え、敦賀と三方の武道館に通つ

たものの、納得の稽古は全くできず、また、怪我一つしたことのない体にアキレス腱が悲鳴を上げ、痛みと戦う毎日となりました。気持ちは焦るばかりで、選手の皆さんに気遣ってもらおうような情けない状態で日が迫ってきました。今までのブランクと体調の深い反省の中で今回の重責の前に平伏するばかりです。

憧れの日本武道館で、学生時代の気持ちよみがえってきました。当時活躍し、名を連ねた面々が皆四十五歳以上になり、大将の立場で臨んでいます。そして、日々稽古を積んでいることの気迫が、ピンピンと伝わってきます。簡単には打つていかない。剣先に気迫が迫る。私はない。前評判の高い埼玉の大将と対することになっていのです。順番は回ってきました。思いは(五分間をたっぷり臨みたい。打たれても何とか持ちこたえたい。五分、五分たっぷりの試合をしなれば。)さすがに教士七段の剣先には全く歯が立たず終了でした。やっぱり、やっぱり、強い！こみあげる一礼の後、この瞬間までの全てが一度に頭をよぎりました。自己のブランクそして体調、何より私は大将として何をしたらのか、この立場に責を果たせたのか。私自身人間の甘さ、浅はかさに突き当たっております。

でも今は、同行できたみんなが同じように来年への思いにふくらんでいると思います。ありがとうございます。

県中体連夏季総合大会

平成二十一年七月二十四日(金)
二十五日(土)

於 県立武道館

男子は明倫中が全中初出場 女子も丸岡中が全中初出場

男子団体戦、準決勝にコマを進めたのは、明倫中、三方中、栗野中、鯖江中の四校。そして決勝では、優勝候補の明倫中学校と、勝負強い三方中学校が対戦した。まず先鋒戦は、お互いに良いところを攻めるが一本を決め切れず、引き分け。次鋒戦は明倫中の植村選手が、常に先を攻め、面で一本勝ち。中堅戦、副将戦は、惜しい技が何本かあったが、引き分け。明倫中が一勝リードで、大将戦となった。大将戦は、開始早々三方中の中西選手が小出選手との相勝負を制し、一本勝ち。勝負は代表戦までもつれ込んだ。代表戦は大将戦と同じ顔合わせとなり、お互いに厳しいところを攻め合ったが、強気に攻めた小出選手が得意の面を取り、激戦の代表戦を制した。明倫中は念

願の初優勝を果たし、全国大会への切符を手にした。

女子団体戦の準決勝に進んだのは丸岡中、三方中、清水中、足羽一中の四校。そして、決勝戦は、強豪校の丸岡中学校と三方中学校の二校の争いとなった。先鋒戦は、丸岡中荒木選手が三方中の小堀選手の剣先が上がる一瞬をとらえ、面を奪い、さらに、相手の面を誘い、出小手で勝利を収めた。次鋒戦は、丸岡中福岡選手が相手の技の途切れるところを丁寧な攻め、面を先取した。反撃に移りたい三方中藤本選手は、相手の居付いた場面を見逃さず面を取り返すものの、福岡選手が思い切りのよいひき面で決着をつけた。後がなくなった三方中学校は、中西選手が鋭い剣さばきで面を放つが、丸岡中遠藤選手が返し面を先取し、そのままの勢いでさらに面をもう一本取り勝利した。この瞬間、丸岡中は、悲願の初優勝を果たし、全国大会へ初出場を決めた。

男子個人戦は、末本選手（鯖江中）、山笠選手（三国中）、内山田選手（明倫中）、林選手（中央中）の各選手が決勝リーグに進んだ。末本選手（鯖江中）が、落ち着いた試合運びと強気の攻めで、三勝して優勝を決めた。女子個人決勝リーグは、柳原選手（森田中）、川島選手（三方中）、元

矢選手（丸岡中）、橋本選手（朝日中）の各選手。長身の柳原選手とスピードのある川島選手がお互いに二勝で並び、順位決定戦にもつれこんだ。柳原選手が得意の面を決め、決定戦を制し個人優勝を果たした。

▽男子団体の部



▽女子団体の部



▽全学年男子の部

- 優勝 末本 和也（鯖江中）
- 二位 山笠 航（三国中）
- 三位 内山田朋弥（明倫中）
- 四位 林 篤紀（中央中）



▽全学年女子の部

- 優勝 柳原 有花（森田中）
- 二位 川島 美幸（三方中）
- 三位 元矢友里恵（丸岡中）
- 四位 橋本 実也（朝日中）



▽二学年男子の部

- 優勝 田中 大志（鯖江中）
- 二位 竹内 友哉（鯖江中）
- 三位 市村 直己（荇原中）
- 三位 村田 悠河（栗野中）



▽二学年女子の部

- 優勝 加藤 有紀（中央中）
- 二位 高嶋 夏妃（中央中）
- 三位 川猿 海鈴（三国中）
- 三位 中森さつき（荇原中）



▽一学年男子の部

- 優勝 池田 佳樹 (三方中)
- 二位 河原 悠真 (三方中)
- 三位 高野 将宏 (東陽中)
- 三位 佐藤 倅太 (丸岡中)



▽一学年女子の部

- 優勝 岡田真由香 (藤島中)
- 二位 藤本久瑠見 (藤島中)
- 三位 鳥取 茉奈 (武生二中)
- 三位 野村 知加 (清水中)



男子団体の部優勝

明倫中学校
小 出 鷹 太

僕達、明倫中学校は今までに一度も全中に出場をしたことがありませんでした。一昨年、昨年と最大のライバルである鯖江中学校に決勝で負けてしまい、悔しい思いをしてきました。今年は絶対に負けないという思いで県大会にのぞみました。

しかし、予選リーグからぎりぎりで勝つ試合ばかりで、一人一人が自分の試合ができていませんでした。何とか予選を勝ち上がり、気を張り直して決勝トーナメントにのぞみました。鯖江中学校とは準決勝で対戦しチーム全員でつなげて勝つことができました。決勝では三方中学校と対戦し、代表戦まで粘り、勝利を収めて念願の初優勝、全中出場の切符を手に入れました。いろいろと苦しい場面もありましたが、仲間や保護者の方の応援のおかげでこの結果を得ることができたと思います。

個人戦

鯖江中学校
末 本 和 也

平成二十一年度第四十七回福井県中学校夏季剣道大会個人戦決勝リ

グ。自分にとって今までが一番緊張もプレッシャーも大きいものでした。そんな緊張の中で、焦らないことを意識して試合に臨みました。四人のリーグで、まずは二勝を挙げ、全中出場をほぼ確実にしました。そして、最後の相手は、地区や県など、何度も優勝を争ってきたライバルでした。僕はその相手に、昨年の秋季大会決勝で負けています。そして、先日の地区大会でも決勝で負けています。全中をほぼ手中にしているのに、リベンジにのみ集中することができませんでした。勝負は延長戦になりましたが、三戦全勝で優勝できました。この勝ちちは、前日の団体戦の敗戦があったからこそだと思います。そして、何より自分を支えて下さった多くの方々のおかげだと、心から感謝したいと思います。



居合道講習会・段位審査会

平成二十一年八月二日(日)
於 県立武道館

居合道講習会 講師

- 一、教士八段 土井 輝男 先生
- 二、" 八段 中村 正人 先生
- 三、" 七段 森川 雍夫 先生
- 四、" 七段 河西 洋治 先生
- 五、錬士七段 松原 剛 先生
- 六、" 七段 竹松孝代志 先生

午前中は河西教士の演武と中村教士の解説にて、全剣連居合十二本の講習であった。その後、昼食を挟み六グループに分かれて講師の先生から丁寧にご指導いただいた。講習会終了後、講師の先生方による模範演武を、土井教士立会いのもと拝見。張りつめた雰囲気の中にも、優雅さが漂う演武であった。



平成21年度全国高等学校
総合体育大会 剣道競技

平成二十一年八月三日(月)
～五日(水)
於 舞洲アリーナ

平成二十一年度のインターハイ剣道競技は、大阪市の舞洲アリーナで開催された。男子団体は七年ぶり二度目の出場となる啓新高校が、女子団体は三十八年ぶり二度目の福井工大福井が出場した。試合結果は、以下の通り。

▽男子団体予選リーグ

・Lブロック
啓新 1―3 明德義塾(高知)
啓新 1―3 上 宮(大阪)

▽女子団体予選リーグ

・Dブロック
福井工大福井 2―0 郡山(奈良)
福井工大福井 0―4 三重総合(三重)

▽男子個人戦

・一回戦
山崎 由樹 一メ 山崎 普土(啓新)
(立命館宇治・京都)

・二回戦

出店 理成 一ド 福岡 展健(高志)
(草津東・滋賀)

▽女子個人戦

・一回戦
伊藤 藍子 一メ 江原 梢(啓新)
(土浦湖北・茨城)
江南 梓 一メ 白水 智子(敦賀)
(佐賀学園・佐賀)

09 県民スポーツ祭

● 高等学校対抗の部
平成二十一年八月八日(土)
● 市町対抗の部
平成二十一年八月九日(日)
於 県立武道館

高等学校対抗の部、市町対抗の部の二日間に渡り開催された県民スポーツ祭。高等学校対抗の部では、今年から勝ち抜き戦方式で行われ、一、二年生の新チームで臨む最初の試合となった学校も多く、この夏に鍛えてきた心と技を存分に発揮し、熱戦が繰り広げられました。また、市町対抗の部では、昨年から新設された熟年男子の部八チームを含め、男女七十七チームが参加し、各試合場では選手の活躍に大きな声援が送られていました。

▽高等学校男子の部

優勝 高志高等学校A
二位 北陸高等学校A
三位 福井高等学校A
三位 啓新高等学校A



▽高等学校女子の部

優勝 北陸高等学校B
二位 丸岡高等学校
三位 敦賀高等学校
三位 福井高等学校



▽市町対抗 成年男子の部

優勝 福井市A
二位 福井市C
三位 福井市B
三位 越前市A



▽市町対抗 成年女子の部

優勝 若狭町A
二位 敦賀市A
三位 若狭町C
三位 越前市



▽市町対抗 壮年男子の部

- 優勝 福井市 C
- 二位 若狭町 A
- 三位 敦賀市 A
- 三位 福井市 A



▽市町対抗 壮年女子の部

- 優勝 鯖江市
- 二位 敦賀市
- 三位 福井市
- 三位 あわら市



▽市町対抗 熟年男子の部

- 優勝 福井市 A
- 二位 越前市 B
- 三位 越前市 C
- 三位 敦賀市



第51回全国教職員剣道大会

平成二十一年八月十日(月) 於 滋賀県立体育館

▽個人戦

- ・女子の部 一回戦
 - 高嶋(福井) ーメ 野口(佐賀)
 - 幼・義務教育の部 一回戦
 - 澤田(福井) ーメメ 渡辺 (神奈川)
- ・高・大・教委の部 一回戦
 - 森岡(福井) ーメ 八木(兵庫)

▽団体戦

- ・一回戦
 - 福井 対 山口(代表勝ち)
 - 先鋒 水上 ーメ 大石
 - 次鋒 相馬 コーメ 藤野
 - 中堅 澤 ーメ 森
 - 副将 道内 コー 松本
 - 大将 西川 ーメ 村岡
 - 代表戦 澤 ーメ 森

個人戦では、まず女子の部で高嶋寿美選手が佐賀県代表の野口選手と対戦をしました。序盤、高嶋選手の惜しい面が出ましたが旗が上がらず、後半攻められて引いたところを面に乘られて惜敗をしました。続いて義務制の部で澤田泰治選手が神奈川県代表の渡辺選手と対戦をしました。立ち上がりから二本続けざまにスピンドのある面を打たれ、残念ながら力を発揮することができませんでした。最後に高校・大学・教育委員会の部で森岡裕一選手が兵庫県代表の八木選手と対戦をしました。積極的に技を繰り出しましたが、鏝競り合いから引き胴を打とうとした瞬間を捉えられ、引き面を取られました。その後は相手の構えを崩す事が出来ずに時間切れとなりました。

団体戦では来年度開催県の山口県との対戦になりました。先鋒の水上

裕也選手は気迫あふれる試合運びで、抜き胴など惜しい技がありました。序盤に取られた一本を取り返す事ができませんでした。次鋒の相馬友選手も引き面を先取されましたが、あわてることなく堂々とした構えから小手を取り返しました。中堅の澤昌選手は構えを崩すことなくじつくり攻め、危なげない試合展開で勝負を後ろに託しました。副将の道内博道選手は、力強い攻めで相手が崩れて思わず引き出されたところ、得意の小手を決め、勝負を五分に引き戻しました。大将の西川讓選手も、いつもどおりの気迫のこもった攻めから一本を狙いますが、相手の守りを崩す事ができず、勝負は代表戦



に持ち込まれました。引き分け者による抽選の結果、中堅の再試合になり、澤選手は終始相手を圧倒する剣道を展開し、一本も時間の問題と思われましたが、一瞬の隙を小手に切れられ、二回戦進出はなりませんでした。平成二十三年全国教職員剣道大会は福井県での開催が予定されています。運営面での成功を目指す事はもちろん、個人・団体ともに入賞を目指すべく、本県教職員も一丸となつて強化に取り組み始めたところです。今後も連盟会員の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

第39回全国中学校剣道大会

平成二十一年八月二十日(木)
～二十一日(土)

於 熊本県人吉市

平成二十一年八月二十日～二十一日に、熊本県人吉市で第三十九回全国中学校剣道大会が行われました。福井県からは、団体男子明倫中学校、女子丸岡中学校が出場しました。個人戦は男子末本選手(鯖江中)と山笠選手(三国中)が、女子は柳原選手(森田中)と川島選手(三方中)が出場しました。
個人・団体とも、選手は死力を尽くして試合をしましたが、全国大会

の壁は厚く、目標の全国大会上位入賞を果たすことはできませんでしたが、今回の全国大会を経験した選手は、これまでの稽古や試合を通して得た経験をこれからの剣道に活かして、福井県剣道界の中心となつていくことを期待しています。

▽男子団体予選リーグ

- △明倫中 0-1 姿川中(栃木)○
- △明倫中 0-4 倉吉西中(鳥取)○
- 二敗で予選リーグ敗退

▽女子団体予選リーグ

- △丸岡中 0-4 己斐中(広島)○
- 丸岡中 2-2 甲府西中(山梨)□
- 一勝一分で予選リーグ敗退

▽個人戦男子

- ・一回戦
- △山笠(三国中)
- ―コ米 (山口・仁保中)○
- ・二回戦
- △末本(鯖江中)
- ―メ松本(香川・屋島中)○

▽個人戦女子

- ・一回戦
- △柳原(森田中)
- ―コ嶋津(大分・東陽中)○
- △川島(三方中)
- ―メ伯耆田(埼玉・越谷中)○

全国中学校剣道大会に出場して

丸岡中学校 女子剣道部
主将 福岡知美

この度私達丸岡中学校女子剣道部は、団体の部で全国中学校剣道大会に出場することができました。試合結果は予選リーグ敗退でした。全国という舞台に初めて出場したためか、初戦はみんな緊張してしまい、相手チームの勢いにのまれてしまいました。やはりどのチームもそれぞれの都道府県の代表であり、とても強かったです。しかし二戦目ではみんな気持ちを切り替え、結果は引き分けでしたが、個人個人が自分の剣道をするのができたと思います。今回の試合で全国のレベルを実際に感じる事ができ、とてもよい経験になったと思います。

また今回出場が決まったとき、たくさんの方々から温かいお祝いの言葉をいただきました。そして私達は多くの人達に支えられているということを実感し、部員一同感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。私達三年生はこれで引退ですが、後輩達には来年も全国大会へ出場して、一勝でも多く勝つてほしいです。

第50回福井県教職員大会 (記念大会)

平成二十一年八月二十二日(土)
於 福井県立武道館

平成二十一年八月二十二日に県立武道館に於いて福井県教職員大会が行われました。夏季休業中とはいえ多忙な公務の中、稽古に励まれた教職員の方々の熱戦が繰り広げられました。

▽男子団体(3人制)

- ・Aゾーン
- 優勝 敦賀(Aブロック1位)
- 二位 福井A(Bブロック1位)



- ・Bゾーン
- 優勝 越前A(Aブロック1位)
- 二位 坂井B(Bブロック1位)



▽女子団体 (3人制)
優勝 坂井
二位 敦賀



北信越国体

平成二十一年八月二十三日(日)
於 石川県羽咋市

八月二十三日(日)に石川県羽咋市において北信越国体が開催されました。成年女子は、石川県との代表戦の末に勝利を勝ち取り、本国体出場を決めました。先鋒のふるさと選手、大将の道内由佳里選手が持てる力を十分に発揮した試合内容でした。本国体での入賞を期待しています。

少年男女は、新型インフルエンザへの感染等で、試合直前の稽古と調整ができないという不運に見舞われました。しかし、試合ではそういったハンデを感じさせない試合運びで、持てる力と技を出し切り清々しい試合を展開してくれました。特に女子チームは、尻上がりに調子を上げて素晴らしい内容の試合をしてくれました。緒戦の石川戦だけが心残りとなりましたが、大健闘を称えたいと思います。

▽試合結果

- 成年女子
- 福井 2-1 富山 ×
- 長野 2-1 石川 ×
- 福井 3-0 長野 ×
- × 富山 0-3 石川 ○

- × 福井 1-2 石川 ○
- 富山 2-1 長野 ×
- 福井、石川 勝ち数 勝者数 取得本数同数のため代表戦
- (福井) 細川 メメー 下村(石川)

- 第一位 福井県、第二位 石川県
- 第三位 富山県、第四位 長野県
- 福井県が本国体出場

福井県成年女子チーム
監督 山本 英俊(県立武道館)
先鋒 細川 梨絵

(文化女子大付属杉並高校)
中堅 高嶋 寿美(福井南養護学校)
大将 道内由佳里(学校法人金井学園)

- 少年男子
- 石川 3-2 福井 ×
- × 富山 1-4 長野 ○
- 石川 5-0 富山 ×
- × 福井 2-3 長野 ○
- 石川 5-0 長野 ×
- × 福井 2-3 富山 ○
- 第一位 石川県、第二位 長野県
- 第三位 富山県、第四位 福井県
- 石川県が本国体出場

- 少年女子
- 石川 1-4 福井 ×
- × 富山 0-5 長野 ○
- 石川 5-0 富山 ×

- 福井 3-2 長野 ×
- 石川 4-1 長野 ×
- 福井 5-0 富山 ×
- 第二位 石川県、第二位 福井県
- 第三位 長野県、第四位 富山県
- 石川県が本国体出場



▲ 少年男子

▼ 少年女子



第38回福井県少年少女 剣道錬成大会

平成二十一年八月二十三日(日)
於 越前市越前体育館

八月二十三日(日)越前市越前体育館において、第三十八回福井県少年少女剣道錬成大会が開催されました。試合は、男子・女子部門の学年別個人戦及び男子・女子部門の団体戦が行われ、チームメイトや保護者の声援を受けながら、各選手とも懸命の攻防を繰り広げ、会場には選手たちの気合の込められた掛け声が会場いつぱいに響いていました。
試合の結果については、次のとおりです。

▽団体戦

優 勝 木田剣道スポーツ少年団

準優勝 五常館

第三位 鯖江剣道

スポーツ少年団

同三位 福井東部

少年剣道教室



▽個人戦

男子4年生以下A

優 勝 後藤真之介
(木田剣道スポーツ少年団)

準優勝 土田 柁
(河和田剣友会)

第三位 安野 圭紀
(福井東部少年剣道教室)

同三位 蓑輪 朋哉
(今立剣道スポーツ少年団)

男子4年生以下B

優 勝 橋本 恭佑
(丸岡剣道スポーツ少年団)

準優勝 刀根 航介
(敦賀剣道スポーツ少年団)

第三位 釜田 竜希
(国高剣道スポーツ少年団)

同三位 長谷川 諄
(春江少年剣道教室)

男子4年生以下C

優 勝 遊津孝太郎
(敦賀剣道スポーツ少年団)

準優勝 八幡桂志朗
(武道学園剣道教室)

第三位 大塚 和希
(金井学園ジュニア剣道教室)

同三位 貢 駿登
(今庄剣道スポーツ少年団)

男子4年生以下D

優 勝 早川 恵理
(五常館)

準優勝 北瀬 貴久
(越前少年剣道クラブ)

第三位 野阪 陸
(福井少年剣道クラブ)

同三位 京藤 尚輝
(吉野剣道スポーツ少年団)



男子5年生A

優 勝 三浦 義心
(武道学園剣道教室)

準優勝 岡田 英介
(春江少年剣道教室)

第三位 刀称 隼人
(木田剣道スポーツ少年団)

同三位 斉藤 雄生
(勝山剣道スポーツ少年団)

男子5年生B

優 勝 川田 晃大
(龍昇館)

準優勝 佐々木俊記
(武生南剣道スポーツ少年団)

第三位 高井 勇典
(武道学園剣道教室)

同三位 高嶋 魁斗
(立待スポーツ少年団剣道部)

男子5年生C

優 勝 山崎 聡
(龍昇館)

準優勝 赤星 純平
(今庄剣道スポーツ少年団)

第三位 山田桂太郎
(福井東部少年剣道教室)

同三位 牧野 純士
(吉川スポーツ少年団剣道部)



男子6年生A

優 勝 志尾 知章
(三国少年剣道教室)

準優勝 大久保泰輝
(吉川スポーツ少年団剣道部)

第三位 河原 一喜
(向笠剣道スポーツ少年団)

同三位 山田 遼馬
(武生南剣道スポーツ少年団)

男子6年生B

優 勝 志賀 涼
(みはま少年剣道クラブ)

- 準優勝 金井 玲 (五常館)
- 第三位 高木 龍斗 (南条剣道スポーツ少年団)
- 同三位 網田 浩人 (河野剣道スポーツ少年団)



- ・女子4年生以下A
- 優 勝 小辻 朋未 (武道学園剣道教室)
- 準優勝 加藤菜摘子 (吉川スポーツ少年団剣道部)
- 第三位 小堀 妃奈 (福井少年剣道クラブ)
- 同三位 西澤 朱音 (豊剣道教室)
- ・女子4年生以下B
- 優 勝 池田二千花 (向笠剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 長谷川理菜 (金津少年剣道教室)
- 第三位 藤貫 晴香 (武生西剣道スポーツ少年団)
- 同三位 箕中 早希 (立待スポーツ少年団剣道部)

- ・女子4年生以下C
- 優 勝 矢田 恭子 (敦賀剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 林 美咲 (栗野剣道教室)
- 第三位 小倉 和泉 (勝山剣道スポーツ少年団)
- 同三位 貢 歩枝奈 (今庄剣道スポーツ少年団)



- ・女子5年生以下A
- 優 勝 八幡 明依 (武道学園剣道教室)
- 準優勝 亀井 菜穂 (坂井剣道スポーツ少年団)
- 第三位 斉藤 榛那 (丸岡剣道スポーツ少年団)
- 同三位 佐々木郁美 (大野市剣道教室)
- ・女子5年生以下B
- 優 勝 西村 真由 (向笠剣道スポーツ少年団)

- 準優勝 水野ひかる (敦賀剣道スポーツ少年団)
- 第三位 笹木 良笑 (三国少年剣道教室)
- 同三位 小林 知可 (今立町剣道スポーツ少年団)



- ・女子6年生
- 優 勝 宮下 夏季 (武生南剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 向野 一夏 (三国少年剣道教室)
- 第三位 森下 真希 (勝山剣道スポーツ少年団)
- 同三位 川崎 仁美 (武道学園剣道教室)



剣道指導者講習会

平成二十一年九月二十七日(日) 於 敦賀市中郷体育館

九月二十七日(日)、「剣道指導者講習会」が開催されました。今年度の中央講習会に参加された、教士七段 堀江範雄先生を講師に迎え、「木刀による剣道基本技稽古法」について学びました。

開講式では県剣道連盟副理事長 西川譲先生から、中学校における武道の必修化と全剣連から通達のあった剣道級位審査規則についての説明がありました。福井県剣道連盟としては来年度四月の級位審査から導入の検討しており、各地区連盟での講習会、県講習会の積極的な参加をお願いされました。級位審査の方法及び運営等については、現在、研究指導専門委員会で検討中とのこと。午前中は、DVDで「木刀による剣道基本技稽古法」を観た後、木刀で素振りを行い、「位(くらい)」とは何か、大きく振りかぶった時に背中の胴紐が交差する辺りを意識することが大事だ。」との注意がありました。その後、二人組になり「木刀による剣道基本技稽古法」の講習に入りました。初めて「木刀による剣道基本技稽古法」をされる受講生もおられ、一本毎にポイントを押さえ

た解りやすい指導をしていたいただき、すでに何度か受講した方も細かく確認しながら指導を受けることが出来ました。

午後からは小中学生に試合をしてもらい、審判講習が行われました。

「主審は先に動いて位置取りをする。」
「試合者の背中ではなく常に技の見える位置に動く。」
「試合者のレベルに相応な有効打突の素早い見極めと同時にしっかりと残心まで姿を追うことが大切である。」との指導がありました。その後、指導法と基本技の稽古をしていただきました。切り返しては基立ちが掛かり手の胸部に押し返すように竹刀を付け、掛かり手が左右面を打つといった方法でした。「これは、しっかりと肘を伸ばした打突と素早い左足の引き付けが大事だ。」と教えていただきました。また、一足一刀の間合いからの面、小手、小手面打ちといった基本技を習いましたが、体勢を崩さず正しく打突部位を打突することの難しさを改めて感じました。

その後、三十分程度の熱気にあふれた合同稽古が行われました。

最後に堀江先生は、『殺人剣』ではなく、『活人剣』。剣道は相手がいるから出来ることである。殺人剣では人は伸ばせない、相手に活かされて出来るのである。』とお話しされたことが印象的でした。

今回は中学校での武道必修化、級審査規則改正に伴い、各地区会員、少年剣道指導者、中学校指導者と五十七名もの受講生でたいへん活気ある有意義な講習会となりました。各立場での指導において活かされる多くのことを学び得ることができたと感じております。一日ご指導いただいた堀江先生には心から感謝申し上げます。最後にになりましたが、試合稽古、合同稽古に参加してくれた小中学生の皆さん、ありがとうございました。

（松井 香里 記）

第4回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

平成二十一年九月二十日(日)
於 大阪市舞洲アリーナ

小学生の部は、四十五の都道府県より選抜された少年剣士が、予選リーグ、決勝トーナメントと熱戦を繰り広げました。本県チームは、鳥取県と滋賀県チームに決勝トーナメント進出をかけて健闘いたしました。残念ながら結果はご覧のとおりでした。

近年、小学生のレベルも著しく向上し、福井県全体の少年剣道指導の

レベルアップが二巡目国体の開催予定である本県の大きな課題であると痛感したところであります。

また、昼食の休憩時に、大阪府警察剣道特別練習員の指導のもとで「伝承と発展」をテーマに「地元剣士100名」と「参加選手」が一体となつて行われた、若さ溢れる元気な集団演武の見取り稽古をさせていただきました。

次年度は「予選リーグを突破」の目標を掲げ、強化を深めて行きたいと思えます。

(少年剣道専門委員長 堤腰 昭)

▽試合結果 小学生の部

〈出場選手〉
先鋒 馬淵
次鋒 増永
中堅 小荒
副将 早川
大将 中田



- ・一回戦
- × 福井県 1 - 2 鳥取県 ○
- ・二回戦
- × 福井県 0 - 3 滋賀県 ○

中学生の部

〈出場選手〉
先鋒 川島
次鋒 金子
中堅 小出
副将 末本
大将 楠田



予選リーグ

- × 福井県 1 - 3 大分県 ○
- × 福井県 0 - 4 北海道 ○

全日本女子剣道選手権大会

平成二十一年九月二十七日(日)
於 静岡県武道館

今回、この大会に出場させて頂き、これからの剣道人生において大いに貴重な経験をする事ができました。今まで、雑誌やDVDで憧れていた方々と同じ選手なんだと感激すると同時に、高校最後の大会としていつもと違う感情がありました。

堂々と戦おう。それだけを胸に臨みました。打たれた技は二本とも完璧でした。面を取る時は悔しきでいっぱい、福井の代表として勝つこと

ができなかったことをとても情けなく思いました。しかし、この悔しさがまた来年絶対に挑戦したいという気持ちにさせてくれ、いつかあの方々のように日本の最前線に立ちたいと強く思いました。きつい稽古やトレ―

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

丹生地区剣道連盟

当連盟は昭和五十年六月に発足した。それまでは鯖江地区剣連の傘下であり、丹原光英初代会長をはじめ、諸先輩の尽力により独立をみた。当初は、丹生郡六町村すべてに少年剣道教室を核としたクラブがあり、それぞれ地域での稽古会も活発に行った。

そして平成十七年二月の町村合併により、清水・越廼地区の福井市編入、新越前町の誕生により、丹生地区即越前町になり、当連盟も名実ともに一つになったわけである。
現在は、朝日、織田、越前と三地域に下部組織があり、それぞれに週二、三回の稽古会を続けている。丹生地区剣道練成大会は、今年で二十五回目になり、少年剣道出身者が今

ニングから逃げず、もつと剣道に没頭します。(啓新高校 伊藤 藍子)

- ・一回戦 伊藤(福井)

― ○メコ 小池(東京)

では若手会員として活躍している。

主な年間行事

- ・寒稽古会 (二月)
- ・剣道強化春季大会 (五月)
- ・昇級審査会 (年三回)
- ・県民スポーツ祭 (八月)
- ・県居合道大会 (九月)
- ・県剣道大会 (九月)
- ・県実業団大会 (十一月)
- ・丹生地区剣道練成大会(十一月)

役員

会 長	鈴木 治磨
副会長	北野 左京
	福島 一郎
理事長	梅野 秀一
事務局長	白崎 一衛

三国少年剣道教室

三国少年剣道教室は年間を通して、三国地区剣道連盟が幼稚園から小学生六年生までの剣士を初心者・初級者、中級者・上級者に分けて、毎週月曜日から木曜日までの週四日間、指導に当たっています。

当教室では、「剣道を通して礼儀作法を身につけること」、「我慢ができる子供を育てること」を運営方針とし、小学生の間は、試合の勝つ負けにとらわれず、剣道の基本を徹底的に身につけ、生涯剣道を続けられる「剣道の基礎」を体得できるように指導に当たっています。

また、毎年、七月に一泊二日の夏合宿、冬の大寒時に一週間(七日間)連続して稽古(寒稽古)を行い、全員での楽しいレクレーションも行い、厳しく、楽しく活動し、学年、学域を超えた「絆」を育んでいます。

平成二十年六月には、当連盟の創立四十周年を迎え、記念事業として、佐賀県から江島良介先生(八段)を招き、小中高校生を対象とした講習会を開催しました。

毎月一回、三国地区内の中学生、高校生、三国地区剣道連盟会員による合同稽古会を開催し、地区内の剣道のレベルアップを図るとともに、コミュニケーションも取りながら、



次代の三国剣道の礎を築いています。

- 代表 高野 治重
指導者 福嶋 俊栄・笹木 教隆・高倉 浩一・寺木 勇人
(志尾 武章 記)

福井東部少年剣道教室

福井東部少年剣道教室は、『仲良くします(協調)。頑張ります(努力)。大事にします(敬愛)。』を道場訓とし、福井県警察学校様のご協

力のもと発足いたしました。道場をお借りし、教官の先生にご指導をいただいで、週に二回の稽古に励んでいます。

「武道は、人間形成を主眼として内面的な精神を鍛錬するものであり、技のみを教わるものではない」という理念のもと、当教室も精神面を強化することを第一の目的としています。

現在の部員は、二十四名。六つの小学校、保育園から子ども達が集まり、学校のクラスメイトとは違う「仲間」との活動を大切にしています。高学年になると、同じ目標を持つ仲間同士、お互いを思いやる心や



支え合う心、一緒に目標を達成しようという仲間意識も大きくなり、一人一人の心の成長を見ることが出来ます。剣道のすばらしさを改めて感じます。

これからも、熱心にご指導くださる先生方と共に、子ども達の成長を見守りながら、未長く活動を継続していけるよう努力していきたいと思っております。

- ・活動日 毎週月曜日・木曜日
- ・活動時間 午後五時三十分～七時
- ・活動場所 福井県警察学校体育館
(福井市荒木新保町五一九)

朝日剣道スポーツ少年団

朝日剣道スポーツ少年団は、前身である朝日剣道教室(昭和四十七年、鈴木治磨先生、福島一郎先生、創立)が昭和五十四年にスポーツ少年団として再出発して以来、今年三十一年目を迎えます。

部員は小学生で二十四人、卒業生の中学生も二人、初心者の方の指導に来てくれます。創部当初より、試合に勝つことよりも、もっと大切な事を学んで欲しいという考えのもと、基本中心の練習をしております。また剣道という競技を通じて、努力することの大切さや継続することの尊さなど、

ことある事に話をする事にしています。ただ、それだけでは子どものこと、なかなか続かないこともあるので、バーベキューや食事会、合宿(練習だけではなく、レクレーションなども混ぜて)色んな楽しみ会も行っております。特に最後に行われる卒業生を送る会では、恒例の親子対決があります。剣道未経験の親でも子どもと勝負するわけですから、なかなか好評です？

また剣道が辛い季節の夏は練習が終わると力キ氷が待っています。(少年団で購入、氷は各自持参の親子で食べ放題?)

試合は年間四回出場、勝つ事も大切だが、負けることも素晴らしい事(負ける悔しさから他人の痛みが解ること、自分の悪い所を教えてもらうことが明日の勝ちにつながる)と教えています。

なにはともあれ、この経験が将来プラスになり、少しでも立派になつてくれれば、もしそれが大変ならば、せめて幸せになつてくれればとの気持ちで子ども達と接しております。

どこかの大会でお会いした時はよろしく願います。

鈴木 治磨 (丹生地区剣道連盟会長)
 福島 一郎 (丹生地区剣道連盟理事長)
 指導者 渡辺 文夫、高橋 滋、

堀川 旨明、吉川 繁、
 前田 整治、江指 恵

- 一、稽古場所 朝日小学校
- 二、練習日時

月：十九時～二十時
 土：十八時三十分～二十時

- 三、人数 小学生二十四人、中学生二人、指導者 六人
- 四、年間行事

四月 卒業生を送る会
 六月 バーベキュー、食事会
 八月 武生大会
 九月～十月 合宿





吉野剣道スポーツ少年団

稽古場所 吉野小学校体育館
稽古日 毎週木・土曜日
(午後六時～七時半)

団 員 男子 十名
年間行事

- ・バーベキュー会
- ・冬期合宿
- ・夏・冬 早朝稽古

十一月 丹生地区練成大会、
敦賀大会
十二月 芦原大会
一月 寒稽古
(高橋 滋 記)

吉野剣道スポーツ少年団は、結成三十六年(昭和四十八年発足)になります。玉村先生・藤岡先生・堀端先生他の御指導のもと、元氣いっぱい稽古に励んでいます。

平成二十年度から練習が週二回になり、大会では少しずつですが良い成績を残せるようになってきました。現在団員数が十名と少人数で、なかなか増えないのが現状ですが、みんな心を一つにして日々努力して頑張っています。

小浜中学校剣道部

小浜中学校剣道部は、男子十三名、女子三名で活動しています。中学生から剣道を始める生徒が多く、三年間での初段取得を目標に活動しています。

指導方針は「文武両道」です。剣道を通じて自己を鍛え、仲間(学級・学年・全校)のために力を尽くせる心の強い生徒を育てていきたいと考えています。

体育館の半面を剣道場として使用しています。週四日という限られた中で、小浜市剣道連盟の先生方、外部指導者の県警高速隊の竹内貴則先生から御指導を仰ぎ、充実した稽古を行っています。

昨年度は、県内の大会への参加や



藤島中学校剣道部

『念ずれば花開く
疑えば花開かず
花開けば必ず真実を結ぶ』

男女合わせて十九名の部員が、面手拭いに染められた言葉を大切にしながら、日々稽古にとりくんでいます。

練習は毎朝三十分程度、放課後二時間程度行っています。朝は日替わりでラダートレーニング、足捌き、胴打ちを使った下半身のトレーニングや、重さの違う竹刀を使い分ける上半身のトレーニング、日本剣道形などを行っています。放課後は基本



練習試合を通じて、他校の剣道に対する姿勢、態度など、多くのことを学ばせていただきました。しかし、まだまだ発展途上の小浜中学校剣道部ですので、県内の剣道部顧問の先生方、是非、練習試合をお願いいたします。

今後も、保護者の皆様をはじめ、支えてくださった多くの方々への感謝を忘れず、精進していきたいと思っています。

や稽古等を中心に行っています。

藤島中は試合場二面分を取れる武道場で毎日稽古ができ、練習試合は近くの県立武道館でできる、とても恵まれた環境にあります。その恵まれた環境に決して甘えず、自分の剣道を練り上げていくことを指導しています。

今年の目標はまず「周囲に応援されるチームになる」ことです。試合等でお気づきになる点があれば、よろしくご指導お願いします。

朝日中学校剣道部

朝日中学校剣道部は、平成八年に創部された若い部です。創部されたときの先生方や先輩たちの、やる気や勢いを引き継いでいきたいと日々努力しています。

現在の部員数は十名で、小学校の少年剣道から続けてきた部員もおりますが、ほとんどが初心者です。そこで、外部指導者として江指恵先生をお迎えし、基礎基本から試合の進め方まで丁寧に教えていただいています。また、部員同士お互い気づいたことをどんどん指摘し合っています。

まだまだ経験が浅いのですが、強化練習会などに参加すると、日頃の練習が結果の差となって顕著に表れるので、手応えを感じたり、反省を



したりしながら、常にモチベーションを高く持って練習に励んでいこうと思います。
また、「正しく強く美しい一本」がとれるように、道場の外でこそ一本とれる行動ができるよう精進していきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

武生高等学校剣道部

本校は、創立百十年を超える県内有数の進学校です。学習面以外にも力を入れており課外活動や部活動にも一生懸命取り組んでいます。剣道

部も、様々なところで活躍しています。過去に県大会において男子は春季総体で二回、他合計十一回、女子一回の団体優勝をしており、全国大会へ三度出場しています。

現在は二十六名（二年生六名、二年生九名、三年生十一名）で活動し、文武両道をモットーに、学業と剣道を両立するべく日々活動に励んでいます。この精神に基づき、現在武道場には本校OBで滋賀大

学名譽教授の清水哲雄先生（元関西学生剣道連盟副会長）の「兀々地」の書の額と武旗が掲げられています。（これは先生の教え子である本校剣道部OB「清水先生を囲む会」の皆さんから寄贈されたものです。）この「兀々地」（こつこつぢ、こつこつぢ）という言葉は、「ひたすら努力するさま」という意味があります。

練習は、平日は七時限授業のため午後五時〜六時三十分まで（七時完全下校）。練習内容は、時期にもよりますが、素振り、足捌き、切り返し、打ち込みの基本稽古の後、地稽古、懸かり稽古等を行います。土日

烹割彩旬 吟楽

福井市二の宮4丁目46-25
TEL&FAX (0776) 23-6533

- 営業時間 / 午後5時～午後10時
(オーダーストップ午後9時30分)
- 休日 / 月曜日

- お昼要予約(前日まで)
- お弁当・結納・法事・歓送迎会・忘年会・新年会・その他予約承ります

は午前八時〜十二時で平日と同様の練習に、技の練習や試合稽古なども取り入れています。練習の中でお互いへのアドバイスなども行っています。土日祝日には合宿や県外への遠征を行ったりしていますが、模擬試験や課外授業などもあり年に十回程度になります。また、遠征の中でも進学を意識するべく、京都・大阪大学の招待試合にも参加しています。こういった数少ない合宿や遠征などを通して、各自が学んだことを日々の練習の中で繰り返して行うことにより、武生高校剣道部を作り上げていっていると思います。現在は、



(大辻 俊裕 記)

昭和三十五年以来の団体でのインターハイ出場を目標に日々稽古に励んでいます。

これからも、日頃からお世話になっている方々への感謝の気持ちをお忘れずに、一人の人間としても成長していけるよう練習に取り組んでいきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。



丹生高等学校剣道部

丹生高校が開校してから五年後の昭和二十八年、高校に学校体育として剣道が復活し、渡辺 彰・河合 薫両先生によって翌二十九年に剣道同好会(男子)が誕生し翌年部に昇格した。

両先生のご指導により、剣道種目が初登場した三十年の県体兼秋季大会で団体優勝、翌三十一年には春季総体・県体兼秋季大会で団体優勝、三十三年の新人大会には団体準優勝、三十四・三十五年の春季総体個人優勝の成果を出した。また、四十五年頃から昭和末年頃までは広昌之先生(教士七段 越前市天王)が外部指導者として献身的なご指導を下さるようになり、翌四十六年には秋季選手権で女子団体準優勝、新人大会で女子団体優勝をなし、四十七・四十八・五十一年には春季総体で女子個人優勝などの成果を出しその後も常に上位を狙う強豪となった。

現在丹生高校剣道部は部員の減少に悩まされ、盛時と比較するべくもないが、丹生地区剣道連盟との連携等を通して少しでも盛時の復活を期したいものである。

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十一年八月三十日

敦賀市武道館

「初段」 八十七名

- 西野 凌矢(東陽中)
- 鈴木 颯(森田中)
- 八田 広樹(東陽中)
- 奥出 宇啓(丸岡南中)
- 村井 勇斗(松陵中)
- 宮谷 且(上中中)
- 緩詰 士朗(粟野中)
- 山口 恭平(成和中)
- 宮谷 光(上中中)
- 宮本 真吾(角鹿中)
- 吉田 隆真(足羽第一中)
- 竹越 治樹(三方中岬分校)
- 石田 将大(大東中)
- 中屋 祐貴(丸岡南中)
- 下野 拓志(粟野中)
- 村田 悠河(粟野中)
- 杉田 智大(角鹿中)
- 高野 遥樹(東陽中)
- 長谷 魁人(三方中)
- 鳥居 滉太(粟野中)
- 白波 智哉(丸岡南中)
- 室谷 拓哉(中央中)
- 吉田 光佑(大東中)
- 村田 一生(栗野中)
- 西村 公稀(三方中岬分校)

- 中村 翔也(松陵中)
- 中弥 皓明(大東中)
- 田辺 祥汰(三方中)
- 田中 翼(中央中)
- 森本 諒太(今庄中)
- 田中 広樹(小浜中)
- 南中 竹鷹(今庄中)
- 宮川 卓也(大東中)
- 橋本 智博(今庄中)
- 堀田 陽平(小浜中)
- 山口 悠介(三方中岬分校)
- 佐藤 瞭介(角鹿中)
- 伊吹 卓也(粟野中)
- 矢野 佑樹(小浜中)
- 菅野 翔太(粟野中)
- 河野 翔平(気比中)
- 米谷 侑紘(若狭中)
- 松岡 洋二(福井高)
- 南谷 将宏(福井県大)
- 澤田 翔太(警察官)
- 小林 圭人(警察官)
- 酒井 皓平(警察官)
- 森下 雄斗(警察官)
- 和田 直也(警察官)
- 曾田 明大(警察官)
- 岡田 翔太(警察官)
- 山田 淳史(警察官)
- 井上 和也(警察官)
- 池田 崇史(警察官)
- 吉田 彰吾(警察官)
- 河野 優太郎(警察官)
- 川邊 久功(警察官)

ペンリレー 女性剣士の部屋

金津剣道連盟 堀江 ユミ

昭和五十九年八月二十一日火曜日、日本武道館にて第一回全国家庭婦人剣道大会が四十都道府県四十五チームにて開催されました。福井県は藤塚定雄監督の下先鋒卯目、次鋒水嶋、中堅堀江、副将小林、大将杉浦。中でも卯目さん、小林さんは三年前から芦原少年剣道教室で子供達の父母十名程が初心者で剣道を始めた中の二人で、小林さんは大会後大阪に引越されたのですが、数年後大阪府の大将として武道館で再会した時は感激しました。試合の方は残念ながら予選リーグ一勝一敗で負けてしまいました。扉を開けると目の前に広がる播鉢状の会場、入場行進を待つ間の蒸し暑い廊下、開会式が始まると同時にスポットライトを浴びたかの様に点灯される照明、又一回大会のみホテルにて開催された前夜祭、その一つ一つにドキドキしていました。優勝は全員が警察職員の東京都A。翌年より同一職種は二名までの選手資格が出来、その後年齢、段位など都度改正されて行きました。そんな成果もあってかこの大会は大敗する事は少なくあと一本、あと一勝で予選リーグ突破出来たのに！帰って稽古して来年こそは、とやる気を貰える大会でもありました。

大会の趣旨の中に全国家庭婦人の剣道愛好者に生涯剣道の目標と機会を設け、健康の増進と技能の向上を図り、広く女子剣道の振興に寄与する。と詠われている通り家事、育児をしながら全国大会出場という機会、それに向けて頑張ると言う目標を持たせた事は大きかったと思います。昨年二十五回大会を以て終了した事は多くの人が残念に思っているのではないのでしょうか。

中学校の部活動で剣道に出会って三十五年。その時々で良い先生に恵まれ厳しくも温かい指導を頂いた事、多くの仲間たちと稽古を通して巡り会えた事、仕事、家事、育児に追われ挫けそうになると温かく手を差し伸べて下さる多くの方がいた事、本当に恵まれていたと感謝しています。

現在は地元の金津少年剣道教室で子供達に元気を貰いながら稽古をしています。転がり落ちる体力を気力と気合ですくい上げながらこれからも剣道を厳しく、楽しく、長く続けて行きたいと思えます。よろしくお願ひします。

平成21年11月～平成22年1月 事業計画

期 日	曜日	事 業 名	場 所	開 催 者	備 考
H21. 11 / 1	日	福井県実業団剣道大会	県武道館	県実業団連盟	
3	火(祝日)	第57回全日本剣道選手権大会	東京都	全剣連	
3	火(祝日)	第40回嶺南剣道大会	小浜市		
7～8	土～日	地方青少年剣道錬成大会	県武道館	日本武道館	
13	金	居合道六・七段審査会	東京都	全剣連	
14	土	剣道七段審査会	名古屋	全剣連	
15	日	剣道六段審査会	名古屋	全剣連	
21～23	土～月	県高校新人戦	県武道館	県高体連	
23	月(祝日)	第28回少年剣道敦賀大会	総合運動公園		
24～25	火～水	剣道八段審査会	東京都	全剣連	
25～26	水～木	剣道六段審査会	東京都	全剣連	
26～27	木～金	剣道七段審査会	東京都	全剣連	
29	日	合同稽古会	越前市	県剣連	
12 / 13	日	剣道段位審査会	県武道館	県剣連	午前9:00から
H22. 1 / 3	日	新春奉納試し切り会・初稽古	越前市		
10	日	剣道・居合道初稽古	県武道館	県剣連	午後13:00(半日)
17	日	剣道形講習会	越前市	県剣連	
24	日	高校冬季選手権大会	県武道館	県高体連	
30	土	県中学校冬季強化大会	敦賀市	県中体連	
31	日	全国都道府県県内予選会	県武道館	県剣連	午前9:00から

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp T E L (0776)28-6616

文武両道

丹生地区剣道連盟

会 長	鈴 木	治 磨
顧 問	佐 藤	節 治
副会長	北 野	左 京
副会長	福 島	一 郎
理事長	梅 野	秀 一
事務局	白 崎	一 衛